

令和5年度 堺東高校 学校教育自己診断の結果と分析

【学習指導】（※%は肯定率）

- ・学習に関して、「全般的にみて授業が難しい」と回答した生徒は84.8%（1年91.3%、2年85.3%、3年75.0%）（昨年79.0%）と増加した。
- ・授業に関して、「全般的にみて授業の雰囲気はよい」と回答した生徒は85.8%（1年83.8%、2年93.5%、3年78.7%）（昨年83.3%）と昨年を上回った。また、「1人1台端末を効果的に活用するなど工夫している」と回答した生徒は93.0%（1年95.1%、2年94.0%、3年88.8%）（昨年82.0%）と上回った。一方、「子どもは授業がわかりやすく楽しいといっている」と回答した保護者は63.6%（66.7%）と昨年を下回った。
- 今後、生徒の状況を見極めながら、生徒の学習効果を高められるように、教え方の工夫や授業の進度・内容の検討を含めた、授業改善への取組みを続けたい。
- ・キャリア教育について、「将来の進路や生き方について考える機会がある」と回答した生徒は95.2%（1年95.9%、2年98.1%、3年90.5%）（昨年89.7%）、「将来の進路や職業、キャリアガイダンスについて適切に指導している」と回答した保護者は90.8%（昨年89.4%）、教員84.6%（昨年83.9%）といずれも昨年を上回る評価であった。
- ・選択科目について、「選択科目の内容は、全体的にみて期待どおりであった」と回答した3年生は80.6%（昨年79.0%）、「本校の選択科目は生徒の興味・関心に応えている」と回答した教員は79.7%（昨年73.2%）、保護者は85.5%（昨年88.3%）であった。
- 引き続き、総合学科として生徒のキャリア教育の支援を充実させ、生徒が自分の進路目標を実現できるための魅力ある学校となるよう工夫に努めたい。

【生徒指導】

- ・学校生活に対する意識について、「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒は79.4%（1年80.9%、2年82.9%、3年72.9%）（昨年74.7%）と全体的には増加した。一方、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と回答した保護者は79.0%（昨年84.5%）と減少した。
- ・本校の生徒指導に関して、「生徒指導上のルールを守っている」と回答した生徒は96.6%（1年99.1%、2年93.5%、3年97.1%）（昨年90.3%）、また、「学校の生活について先生の指導には納得できる」と回答した生徒は78.0%（1年75.6%、2年83.4%、3年74.7%）（昨年75.7%）と増加した。一方、「学校の生徒指導の方針に共感できる」と回答した保護者は83.1%（昨年86.9%）と減少した。
- ・本校の人権教育に関して、「生命の大切さや適切な人権感覚、社会のルールを学ぶ機会がある」と回答した生徒は91.6%（1年90.5%、2年92.6%、3年91.8%）（昨年88.7%）、「学校は生徒に生命を大切にしている心や社会のルールを守る態度を養おうとしている」と回答した保護者は86.6%（昨年90.0%）、「本校の人権教育の機会と内容は適切である」と回答した教員は92.8%（昨年83.9%）であった。
- ・本校のいじめに対する体制・対応に関して、「先生はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」と回答した生徒は88.7%（1年84.7%、2年94.5%、3年87.0%）（昨年85.0%）、保護者は79.4%（昨年87.1%）、「いじめが起きた際の体制が整っており、迅速に対応できる」と回答した教員は88.8%（昨年85.5%）であった。生徒と教員については、肯定率が上昇しているが、保護者については減少している。
- 生徒指導に対する教員の取組みや生徒への対応については、例年と同様に評価している。一方、生徒において学年間で差がみられること、また保護者の肯定率が減少した項目があることを踏まえ、指導方針等について保護者に丁寧に説明をすることや保護者や地域等の意見を参考に、今後も安全で安心な学校づくりへ取り組んでいきたい。

【学校運営】

- ・3年生の総合学科アンケートにおいて、「科目選択で選びたい科目を選択できた」と回答した生徒は、大きくポイントが上がった昨年度（85.0%）に比し、今年度は77.0%と下げてしまった。一方、「学校行事や学校生活においても、総合学科らしさを感じることができた」と回答した生徒は83.5%（昨年72.0%）と昨年を大きく上回った。「総合学科を選んでよかった」と回答した生徒は88.8%（昨年89.0%）で、例年とほぼ同じ値であった。
- 教職員が総合学科の特色や強みを再度見直し、総合学科の魅力向上に努めていきたい。
- ・学校行事について、「文化祭・体育祭などの学校行事は活発である」と回答した保護者は93.0%（昨年90.6%）、教員94.6%（昨年73.2%）また、生徒について、文化祭に92.6%（1年94.1%、2年94.0%、3年88.4%）（昨年82.0%）、体育祭に92.1%（1年93.0%、2年95.4%、3年86.5%）（昨年77.0%）と昨年を大きく上回る肯定的な評価を得た。
- 生徒会部を中心に、生徒の主体的な活動を一層推進していけるよう学校行事の充実を図っていきたい。
- ・教育相談について、「担任の先生以外にも相談できる先生がいる」と回答した生徒は59.3%（1年52.2%、2年64.0%、3年62.9%）（昨年48.3%）、「学校は子どもの悩みや相談に適切に応じてくれる」と回答した保護者は78.6%（昨年79.2%）、「生徒は担任以外の教職員にも相談することができる」と回答した教員は90.7%（昨年89.1%）であった。生徒の評価は昨年を大きく上回ったが、保護者と教員は減少した。
- 担任の先生が面談等を繰り返し行い、親身に生徒の相談にのっているが、生徒が気軽に相談できる体制の構築に向けて、教員全体が意識をもって今後も取組んでいきたい。
- ・教員アンケートにおいて、「職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」と回答した教員は53.7%（昨年46.4%）、「各仕事の引継ぎがスムーズに行われ継続性がある」と回答した教員は61.1%（昨年46.4%）、「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」と回答した教員は79.2%（昨年62.5%）といずれも昨年を大きく上回った。
- ・地域連携について、「近隣の学校などと異校種間連携の機会を設け、本校の教育活動に生かしている」と回答した教員は70.4%（昨年62.5%）と増加した。一方、「PTA活動に参加している」と回答した教員は46.3%（昨年46.6%）と横ばいであった。
- 来年度、分掌や委員会の再編整備を行うにあたり、業務の引継ぎは大変重要である。教職員間のコミュニケーションを密に図り、スムーズな業務の引継ぎ、および組織の円滑な運営が行われるようにすることが必要である。またPTA活動をはじめとした地域連携を積極的に参加できるよう職場の環境づくりに努めたい。

【情報提供】

- ・学校からの情報提供について、「学校は進路や入試等の情報について知らせてくれる」と回答した生徒は94.2%（1年92.5%、2年98.1%、3年91.7%）（昨年86.3%）、「学校は教育情報について提供の努力をしている」と回答した保護者は85.0%（昨年81.6%）、「教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている」と回答した教員は90.8%（昨年89.3%）といずれも昨年を上回った。
- ・家庭への連絡や意思疎通について、「全般的に学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」と回答した保護者は75.9%（昨年76.1%）、教員は94.4%（昨年92.9%）であった。
- ・地震や台風等緊急時の対応について、「地震や台風等緊急時のマニュアルは適切である」と回答した保護者は88.0%（昨年95.4%）と昨年を下回った。
- 1人1台端末を活用した日常における情報のやり取り、また緊急時の連絡方法など工夫していること、またHPの定期的な更新により積極的な情報の提供や発信に一定の成果を得ている。一方、緊急時の連絡体制等の周知については、再度徹底することが必要である。